



九州大学



fgn.

FUKUOKA GROWTH NEXT



九州大学発・学生ベンチャーの創出

第3回

九州大学ビジネスプランコンテスト

PROGRAM

2019年11月23日(土) 13時~17時30分

FUKUOKA GROWTH NEXT

文部科学省 次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT)

# The 3rd KYUSHU UNIVERSITY BUSINESS PLAN CONTEST

主 催



協 力



FUKUOKA GROWTH NEXT

協 賛

Gold Sponsor



Silver Sponsor



Bronze Sponsor



## 第3回 九州大学ビジネスプランコンテスト

- 主 催 国立大学法人 九州大学
- 協 力 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) / Fukuoka Growth Next
- 協 賛 SG インキュベート株式会社 / RKB 毎日放送株式会社 / 株式会社安藤・間 / 株式会社 QTnet / 株式会社 J&J 事業創造 / 株式会社 TVQ 九州放送 / トヨタ自動車九州 Garaway F / 西日本鉄道株式会社 / 農林中央金庫 / アイ・ケイ・ケイ株式会社 / 弁護士法人内田・鯨島法律事務所 / 株式会社 AGS コンサルティング / SMBC 日興証券株式会社 / 株式会社エスネットワークス / 九州旅客鉄道株式会社 / QB キャピタル合同会社 / 住友商事株式会社 / 株式会社西部技研 / 凸版印刷株式会社 / 株式会社西日本新聞社 / 株式会社博報堂
- 後 援 福岡県 / 福岡市 / 福岡地域戦略推進協議会 / 九州・大学発ベンチャー振興会議 / 一般社団法人九州経済連合会 / 一般財団法人九州地域産業活性化センター / 経済産業省九州経済産業局 / 九州ニュービジネス協議会 / 中小機構九州 / 福岡商工会議所 / 日本経済新聞社西部支社 / 株式会社西日本新聞社 / NHK 福岡放送局 / 福岡放送 / テレビ西日本 / RKB 毎日放送 / 九州朝日放送 / TVQ 九州放送
- 事 務 局 九州大学 ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター
- 問い合わせ先 九州大学 学術研究・産学官連携本部 ベンチャー創出推進グループ  
准教授 熊野正樹  
kumano@airimaq.kyushu-u.ac.jp

<http://qrec.kyushu-u.ac.jp/>



## About Kyushu University Business Plan Contest

本コンテストは、九州大学の大学生(院生含む)を対象としたビジネスプランコンテストです。

未来の起業家である学生が考えた独自のビジネスアイデアを事業計画書に落とし込み、プランの実現と起業を目指します。

### プログラム Program

- 13:00— 開会挨拶  
九州大学 総長 久保千春
- 13:15— 審査員紹介・審査基準発表
- 13:25— ファイナリスト4チームの発表  
(プレゼン5分、質疑応答7分、起業への思い1分)
- 14:30— 休憩(10分)
- 14:40— ファイナリスト4チームの発表
- 15:50— 休憩(10分)
- 16:00— 基調講演「メドメインの挑戦」  
飯塚 統 (メドメイン株式会社 代表取締役)  
※審査委員は別室にて審査
- 16:50— 審査発表・表彰式
- 17:20— 閉会挨拶
- 17:30— 終了

### 基調講演 Keynote Speech



#### 「メドメインの挑戦」

飯塚 統 Osamu IIZUKA  
メドメイン株式会社 代表取締役

1991年生まれ、東京都新宿区出身。九州大学医学部在学中にWebエンジニアとしてベンチャー企業勤務を経て、九大起業部からの第一号となる、医療ITのスタートアップ「メドメイン株式会社」を2018年1月に設立。

AIと遠隔病理診断のプラットフォーム「PidPort」を開発・提供している。

2019年に総務省・NICT主催の起業家万博で最高賞である総務大臣賞を受賞、NewsPicks MAKEMONEY優勝

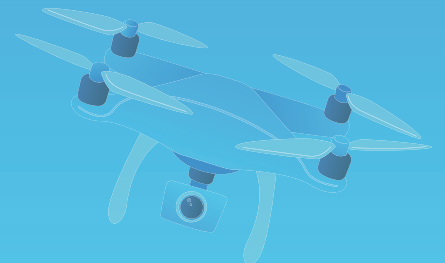
### 賞 Awards

優勝

準優勝

NEDO賞(TCP2次予選会出場権及び各種支援)

協賛企業各賞



# ファイナリスト Finalists

KYUSHU UNIVERSITY BUSINESS PLAN CONTEST



**REDCAT**  
九州大学

## 電池の性能評価シミュレーションソフトの開発・販売

メンバー

徳丸(工3)/北井(経4)/井上(教授)

私たちは、実電極構造の電池の性能評価をするソフトウェアを開発し、電池の開発を行っている企業に対して販売する。  
本ソフトウェアを使うことで作製プロセスの最適化や電池材料の開発に寄与し、開発中の電池の性能向上や効率の良い開発方針を立てることを、シミュレーション上で早く行うことが出来るようになる。



**collEco**

## ゴミ捨ての常識を変える「お得に徳積むサービス」

メンバー

濱崎(IUPE 農1)/山本(IUPE 農1)/伊藤(共1)

collEco は、「ゴミ問題を解決したい」・SDGs に取り組みたい・集客をしたいというニーズを持つ、自治体や企業に、ゴミ問題の解決を通してSDGs に取り組み、集客もできる新しいサービスを提供する。そのサービスは、消費者である、ユーザーに対し、スマホアプリとIoT デバイスを用いて、ゴミを正しく分別して捨てると金銭的なインセンティブが得られるサービスである。



**nanoFreaks**

## 水難救助要請デバイスとアプリによる最高率救助システムの構築

メンバー

千葉(理 M1)/成田(芸3)/中村(経4)/山城(芸4)/志呂威(法1)

海上での事故(転落、病気等)において、事故の当事者は救助要請することが困難であり、救助開始に数時間単位での遅れが生じる。その結果、事故当事者の生存率は低下し、もしもの際にも遺体が上がらないリスクも高まる。上記課題の解決にあたり、瞬時に救助を要請できるお守り型デバイスと検索効率化アプリを開発する。



**Aufil**

## ナノテクノロジーを用いた日本酒の老香(ひねか)除去フィルターの開発

メンバー

大城(工4)/齋藤(医1)/重村(経1)

日本酒を扱う飲食店や酒造メーカー、さらに日本酒の消費者に対して金ナノ粒子フィルターを消耗品モデルに従って提供する。これまで日本酒は老香により劣化し商品価値を損なうことがあったが、金ナノ粒子フィルターを利用することで、本来の香りが蘇った日本酒へと変化させることができる。これを応用してブランディングの創出も検討中である。



## ライブガタリ

### ライブネットワーキングサービス

#### メンバー

桐原(経1)/中田(工1)/尾木(工3)

アーティストのライブ後に感想をオフラインで語り合う友達がない人向けのビジネス。感想を語り合う相手と場所(飲食店)をウェブページまたはアプリを用いて紹介。「ライブガタリ」を用いることでライブ後、感想を語り合いたいけど語り合う相手も場所もないという人をゼロにできる。



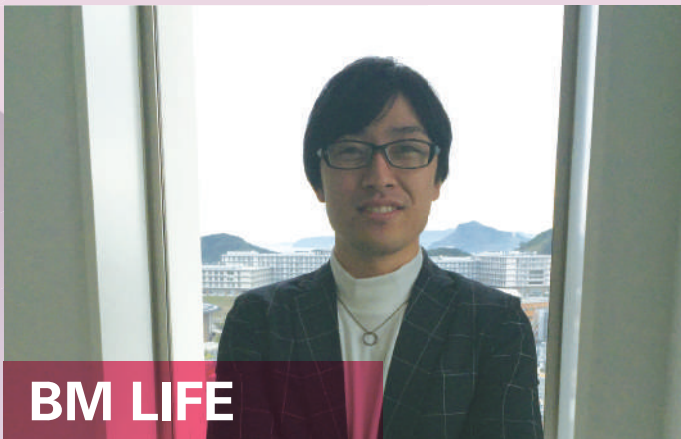
## めるしおん

### 「仮想お墓」と遺骨・位牌の配達サービス

#### メンバー

尾木(工3)/北井(経4)/松尾(工3)

お墓の管理に負担を感じている方、お墓が遠方にあつてお墓参りが大変な方、お墓が高くて購入できない方、先祖代々のお墓に入るのが嫌な方向けて新しいお墓の在り方を提供する。電子データで仮想的なお墓を作るサービスを提供する。仮想的なお墓では不十分に感じる方には、年に数回ほど本物の遺骨または位牌を配達する。



## BM LIFE

### 若者向けの引越しアプリ開発

#### メンバー

小宮(解剖有機化学研究室所属 M2)

学生や入社10年目までのターゲットが引っ越しをする際、退去者と入居者をマッチングすることにより引っ越しにかかる費用を削減するビジネス。さらに、不動産業者にも入居者を紹介できるビジネスプランになっている。



## OptiWave

### 脳波計を用いた集中度マネジメントシステムの開発と提供

#### メンバー

竹内(生 D3)/安田(経4)/小山(理2)

我々は集中力不足で困っている社会人や学生に脳波計を用いた集中カトレーニングシステムの提供を行う。ニューロフィードバック技術と呼ばれる技術があり、それは脳波を動画や音などでリアルタイムで表現し、それを人間が良い方向に変わるよう考えることで、脳波の変化を施すものである。それらを利用し、集中カトレーニングを提供する。

## 審査員

## Panel of Judges



**東 博暢** 審査委員長

株式会社日本総合研究所 プリンシパル

**Hironobu AZUMA**

2006年株式会社日本総合研究所入社。以後、スタートアップ支援、スマートシティ推進、クールジャパンを軸に活動。2016年2月に、株式会社三井住友銀行と共に、日本の成長戦略の基盤となる先進性の高い技術やビジネスアイデアの事業化を支援しイノベーションを推進する異業種連携の事業コンソーシアム「Incubation & Innovation Initiative」を組成し、全体統括を行うと共に、アクセラレーションプログラム「未来」を運営している。



**植野 直亮**

トヨタ自動車九州 次世代事業室 主幹  
GarrawayF ビジネスプロデューサー

**Naoaki UENO**

100年に一度の大変革の中、ものづくりの革新や新事業創造など新たな価値提案を創出する次世代事業室を立ち上げる。

「さらに笑顔になれる未来づくり」のため、多様な業種・業界の方々とおープン&スピーディに仲間づくりを図り、創造をカタチにする「現場」としてコワーキングスペース「GarrawayF」を開設し、協働協創を実践中。



**春日 博文**

ポート株式会社 (PORT INC.)  
代表取締役社長

**Hirofumi KASUGA**

2011年、大学卒業と同時にポート株式会社を創業。領域に特化したインターネットメディア事業を中心に事業拡大し、人材紹介サービスやオンラインで患者と医師を繋ぐ診療プラットフォームサービスなどのリアルプロダクトを開発中。2018年に東証マザーズ、福証Qボードに上場。



**金子 和生**

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)  
イノベーション推進部スタートアップグループ グループ長 / 統括主幹

**Kazuo KANEKO**

1993年 NEDO 入構。大型ナショプロ、再エネ/新エネの導入普及事業等を担当した他、NEDO バンコク事務所、経済産業省通商政策局地域協力課 APEC 室、内閣府総合科学技術会議事務局への出向を経て、2016年スタートアップ・中小企業支援事業を所管する NEDO イノベーション推進部に着任。新エネ分野、福祉用具分野などの技術開発支援などを担当した後、2019年7月から現職。現在はスタートアップ支援全般に関する業務を担当。



**佐藤 時夫**

SG インキュベート株式会社 代表取締役社長  
西部ガス株式会社 執行役員 関連事業部長

**Tokio SATO**

福岡県出身。西部ガス株式会社入社後、10年以上に亘り、企業の M&A や事業再生に従事。

現在は関連事業部にて、関係会社の統括・管理・経営支援及び新規投資案件を担当。

2019年4月より、SG インキュベート(株)代表取締役就任。経営管理および投資判断全般を管掌。



**中島 英隆**

株式会社 QTnet YOKA プロ グループ長

**Hidetaka NAKASHIMA**

大学卒業後、全国系通信キャリアのネットワーク技術者として学術系ネットワークや金融系ネットワーク構築プロジェクトなどに従事。

2008年に QTnet に入社し、基幹ネットワーク設計など前職に引き続きネットワーク技術者として従事後、社内人事処遇制度改革プロジェクト、社内中期事業計画策定、自治体セキュリティクラウド構築など様々なプロジェクトにもプロジェクトマネージャーとして従事。

2018年4月から新規事業の企画・開発に従事中。



**宮田 康弘**

株式会社安藤・間イノベーション部事業創生グループ長

**Yasuhiro MIYATA**

長崎県出身。筑波大学第三学群社会学類で経営工学専攻。1991年株式会社間組入社(2013年会社合併により株式会社安藤・間)。情報システム部でシステム開発、情報インフラ構築、現場・営業所・支店で事務全般の業務、人事部で制度設計・人材開発を担当し、本年4月に創設されたイノベーション部で新規事業創出に従事。



**村田 文教**

株式会社 TVQ 九州放送  
取締役 (経理、経営企画、関連事業担当)

**Fuminori MURATA**

1984年に日本経済新聞社に入社。新聞記者としてハノイ支局駐在などアジア報道のほか、コモディティ部門や国内支局で企業取材などに携わる。編集局次長兼記事審査部長、業務改革推進本部長などを経て、2017年6月から現職。経営企画担当として、ブランド戦略の推進に加え、非放送事業の売上拡大をにらみ新規事業の開拓を探っている。



## 荻野 浩輝

農林中央金庫 執行役員デジタルイノベーション推進部長  
一般社団法人 AgVenture Lab 代表理事

### Koki OGINO

1990年4月 農林中央金庫入庫。  
2000年にカリフォルニア大学バークレー校でインターネットビジネスを学ぶ。システム企画部・リスク管理業務・データマネジメントの責任者を経て、2017年7月のデジタルイノベーション推進部新設とともに現職。併せて農業や社会の課題を解決するイノベーションの創発のため2019年5月に設立されたJAグループのオープンイノベーションラボ「AgVenture Lab」の代表理事を務める。



## 小原 靖明

株式会社AGSコンサルティング 専務取締役

### Yasuaki OBARA

1986年(株)AGSコンサルティング入社。  
1999年マザーズ市場創設時、IPO支援事業を立ち上げ、約20年間にわたり数多くのIPOに関与。現在は、名古屋・大阪・福岡の地方拠点もカバーし、ベンチャー企業を支援。専門領域は、IPO支援のみならず企業再生も主業務としていることから、企業の「経営管理」を重点にコンサルティング業務を展開している。



## 菊地 正樹

アイ・ケイ・ケイ株式会社 関連事業開発部 部長

### Masaki KIKUCHI

1990年三井住友銀行入社後、審査、事業再生、営業企画等の各部署を経て、最終本店法人営業部長。2019年6月よりアイケイケイ株式会社へ出向。  
新規事業等の開発に携わる。



## 隈 扶三郎

株式会社西部技研 代表取締役社長

### Fumio KUMA

昭和62年 株式会社西部技研入社。平成2年 米国ニチメン会社出向。平成14年4月より同社代表取締役。平成21年 経済産業省より第3回ものづくり日本大賞優秀賞受賞。平成26年「グローバルニッチトップ企業100選」(経済産業省)選定。平成27年「ダイバーシティ経営企業100選」(経済産業省)選定等。  
平成26年藍綬褒章(経営革新功績)受章。平成28年在福岡スウェーデン名誉領事等。



## 西濱 洋介

株式会社J&J 事業創造 取締役開発本部 副本部長

### Yosuke NISHIHAMA

1995年慶應義塾大学文学部卒、同年ジェーシービー(JCB)へ入社。同社営業推進部、市場開発部、業務本部、システム本部を経て、2015年システム企画部部長に就任。2016年総合企画部部長を務めた後、2018年3月にJCBとJTBの合併会社である(株)J&J事業創造へ出向。同年4月より現職。



## 花田 茂吉

西日本鉄道株式会社 事業創造本部  
新規事業推進部 課長

### Mokichi HANADA

2001年4月入社、法務部門で企業法務・株式実務を担当。  
2005年7月、ICカードプロジェクトに異動。サービス設計・システム開発・加盟店開拓に取り組む。  
ICカード・nimoca 立上げ後の2008年7月より、(株)ニモカに出向し、新サービスの開発や外部提携、相互利用を推進。  
2016年7月より、西鉄全体の新規事業開発とオープンイノベーションプログラムを担当。

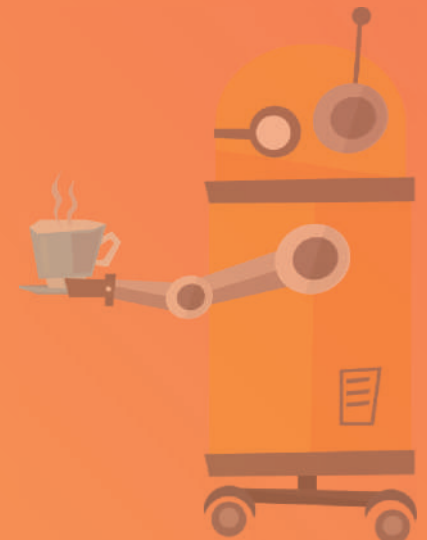


## 安増 高志

RKB毎日放送株式会社  
メディアラボ クロスメディアプロデューサー

### Takashi YASUMASU

1998年入社。技術局に配属後、数々の技術開発において多数の受賞歴を持つ。その後、番組制作やビジネス開発に携わり、技術者出身プロデューサーの強みを生かしながら様々なスタートアップ企業とのコラボを実現。現在は「エンタテ! 区~テレビが知らないe世界~」のプロデューサーとして、テクノロジーが切り開く未来を描く。





九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY

# KYUSHU UNIVERSITY BUSINESS PLAN CONTEST

